

科目名	卒業制作						年度	2026	
英語科目名	Graduation production						学期	後期	
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 3年次	必/選	必	時間数	360	単位数	12	種別※	実習
担当教員	高城良之、碓氷和也、長沼みか、山口恵美子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		インテリアデザイナー（高城、碓氷、長沼）、インテリアコーディネーター（山口）		
【科目の目的】 本科目は、インテリアデザイン専攻における学びの集大成として、自ら設定したテーマを論理的・創造的に具現化することを目的とする。これまでに習得した空間企画、設計、パース制作、模型制作、および人間工学や材料学などの専門知識を統合し、特定の空間や社会に対する独自の解決策を提示する。一連の制作プロセスを通じて、デザイナーとしての自律的な問題解決能力と、他者へ自らの意図を正確に伝えるプレゼンテーション能力を確立する。									
【科目の概要】 各自またはゼミのテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作する。									
【到達目標】 A. 技術力/課題内容と表現特性に合わせた制作技術を理解し、実践できるようになる B. 思考・発想力/課題条件に合わせた論理的思考に沿った、効果的な表現ができるようになる C. 企画力/複数のアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができるようになる D. 遂行力/制作時間と提出期日を考慮してスケジュール管理と課題提出ができるようになる E. 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける									
【授業の注意点】 各回ごとに必要な資料をアナログまたはデジタルデータで準備すること。調査、取材などの日程が授業と重複する場合には、実施前日までに担当教員の許可を得ること。授業時限数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	要望に応える制作技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、制作している	要望に応える制作技術を理解しているが、形として不十分	要望に応える制作技術の理解が不足している				
到達目標 B	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる	課題条件に合わせた思考と表現ができる	課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分	課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分				
到達目標 C	多くのアイデアをもとに、リサーチや内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、デザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の修正が不十分	アイデア、デザイン内容の検証、修正が不十分				
到達目標 D	制作時間を考慮して内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考慮してスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考慮して締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考慮して締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考慮して締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない				
【教科書】 特になし									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題完成度40% 提出課題完成度を総合的に評価する。 リサーチ20% 制作準備と過程を評価する。 相談検証20% 制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。 プレゼンテーション10% 課題の発表技術、内容について評価する。 平常点10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		卒業制作			年度	2026
英語表記		Graduation production			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス及び各自テーマ発表	授業について理解する	1 授業の流れの確認	目標を立てることができる	2	
2	ラフデザイン	テーマ設定、エスキース①	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 デザインスケッチ	アイデアスケッチができる		
3	ラフデザイン	テーマ設定、エスキース②	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 デザインワーク	アイデアスケッチができる		
4	ラフデザイン	エスキース、図面作成①	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 デザインワーク	アイデアスケッチができる		
5	中間プレゼンテーション準備	エスキース、図面作成②	1 作図	アイデアをもとに図面を作成することができる	2	
6	中間プレゼンテーション	エスキース、プレゼンボード作成	1 ビジュアル作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
			2 プレゼンボード作成	作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる		
7	中間プレゼンテーションフィードバック検討	プレゼンテーション	1 プレゼンテーション	自分の作品を説明できる	2	
			2 提出	期限内に提出する		
8	最終提案デザインまとめ	テーマ設定、エスキース①	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 デザインスケッチ	アイデアスケッチができる		
9	最終提案デザインまとめ	テーマ設定、エスキース②	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 デザインワーク	アイデアスケッチができる		
10	最終提案デザインまとめ	エスキース、図面作成①	1 模型製作	アイデアをもとに模型を作成することができる	2	
11	最終提案デザインまとめ	エスキース、図面作成②	1 模型製作	アイデアをもとに模型を作成することができる	2	
12	最終成果物の制作	エスキース、模型作成③	1 模型製作	アイデアをもとに模型を作成することができる	2	
13	最終成果物の制作	プレゼン資料作成①	1 模型製作	アイデアをもとに模型を作成することができる	2	
14	最終成果物の制作	プレゼン資料作成②	1 ビジュアル作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
			2 プレゼンボード作成	作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる		
15	最終プレゼンテーション準備	プレゼンテーション	1 プレゼンテーション	自分の作品を説明できる	2	
			2 提出	期限内に提出する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等